



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月14日

上場会社名 ソフトマックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3671 URL <http://www.s-max.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 野村 俊郎
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部担当(氏名) 濱平 耕一 (TEL) (099)226-1222
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,080	16.2	110	104.1	119	101.2	83	253.8
2019年12月期第1四半期	929	46.8	54	—	59	—	23	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	13.96	—
2019年12月期第1四半期	3.95	—

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株あたり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	5,541	2,007	36.2
2019年12月期	5,642	1,996	35.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 2,007百万円 2019年12月期 1,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,874	8.0	39	△60.2	63	△43.2	38	△33.1	6.46
通期	4,450	2.7	420	3.5	466	8.7	284	5.1	47.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大がもたらす影響を現時点において合理的に見積もることは困難であるため、第2四半期累計期間及び通期の業績予想は変更していません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年12月期 1 Q	5,959,500株	2019年12月期	5,959,500株
---------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2020年12月期 1 Q	264株	2019年12月期	264株
---------------	------	-----------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年12月期 1 Q	5,959,236株	2019年12月期 1 Q	5,959,301株
---------------	------------	---------------	------------

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、実際の業績等は、様々な要因により、大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の4ページに記載した「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、昨秋の消費税増税後の個人消費の低迷、米中貿易摩擦などによる世界経済減速の影響を受け、景気はやや弱含みに推移する中、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴い経済活動が停滞し、先行きの下振れリスク、不透明感がさらに高まるような状況で推移いたしました。

当社のお客様である医療機関での新型コロナウイルス感染拡大の影響はより大きく、わが国の医療制度、個々の医療機関の運営においても、早急な対応を迫られております。その中でも、医療分野のICT化では、「オンライン診療」が注目されており、時限措置として、初診での「オンライン診療」の早期の実現が見込まれております。一方、団塊の世代が75歳以上になる2025年に向け、安全・安心で質の高い医療が受けられる体制構築、医療費抑制のための様々な施策は継続して実行されております。2020年度政府予算案では、「健康寿命延伸等に向けた保健・医療・介護の充実」をテーマに掲げ、「地域包括ケアシステムの構築」などの施策に重点的に予算配分がなされております。その中で、2019年度予算において初めて創設された「医療情報化支援基金」に関連し、本年3月に厚生労働省より「オンライン資格確認の導入について」が公表され、電子カルテシステム等の既存システムの改修への補助を含む支援策が明らかになっております。また、本年4月予定の診療報酬改定においては、「医療従事者の負担軽減」、「医師等の働き方改革の推進」などが新たに重点課題として取り上げられています。

このような状況の下、当社では、Web型電子カルテシステムを中心に、同システムの導入率の低い中小規模病院への拡販を従来どおり展開するとともに、一方では、地域医療の中核を担う有力病院グループへのクラウド型システム導入、全国に展開している公的あるいは民間病院グループへの広域クラウドサービス導入のアプローチも進めてまいりました。また、開発・技術部門では、システム機能の充実と信頼性の確保という方針を基に、システムの機能強化、バージョンアップとともに、介護との連携、営業面も含めた他社との提携の可能性の検討を図り、さらには、顧客医療機関に対するサポート体制の強化、顧客満足度の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、医療機関のIT投資へのニーズが引き続き堅調だったため、売上高は1,080,087千円（前年同四半期比16.2%増）に伸びました。一方、利益ベースでは、売上高の増加に加え売上総利益率も3.6ポイント増えたことにより、営業利益110,314千円（前年同四半期比104.1%増）、経常利益119,811千円（前年同四半期比101.2%増）、四半期純利益83,188千円（前年同四半期比253.8%増）となりました。

また、受注状況につきましては、受注高782,505千円（前年同四半期比32.2%減）、受注残高1,335,853千円（前年同四半期比26.0%減）となりました。

なお、セグメント別の業績につきましては、システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しておりますが、受注実績及び販売実績を種類別に示すと、次のとおりであります。

①受注実績

種類別	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
システムソフトウェア	508,642	64.7	940,461	74.7
ハードウェア	273,862	74.5	395,391	72.5
合計	782,505	67.8	1,335,853	74.0

②販売実績

種類別	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	前年同四半期比(%)
	販売高(千円)	
システムソフトウェア	578,010	123.9
ハードウェア	211,920	117.0
保守サービス等	290,156	102.8
合計	1,080,087	116.2

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ、流動資産が467,063千円減少、固定資産が366,492千円増加した結果、100,570千円減少し、5,541,611千円となりました。流動資産の減少は、主に、現金及び預金が433,048千円減少したことによるものです。一方、固定資産の増加は、主に、有形固定資産が366,589千円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ、流動負債が481,698千円増加、固定負債が593,947千円減少した結果、112,248千円減少し、3,533,710千円となりました。流動負債の増加は、支払手形及び買掛金が104,824千円減少、1年内返済予定の長期借入金が250,000千円減少したものの、短期借入金が850,000千円増加したことによるものです。一方、固定負債の減少は、主に、長期借入金が606,885千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ、11,678千円増加し、2,007,901千円となりました。当第1四半期累計期間において、資本金及び資本剰余金の増減はなく、増加要因は利益剰余金であり、四半期純利益83,188千円の計上と第47期利益剰余金の配当金71,510千円の支払いによるものです。なお、自己資本比率は36.2%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の終息が見通せる時期までは、当面厳しい環境が継続していくものと思われます。とりわけ、当社の属する医療業界におきましては、地域の医療体制の維持、医療従事者の安全確保が喫緊の課題となっております。当社は、医療情報システムを取り扱う会社として、国の医療政策、また各都道府県の掲げる地域医療構想に対応した医療のICT化への取り組みを進め、更なる医療への貢献を目指してまいります。

このような事業環境の下、新型コロナウイルス感染拡大の影響が鎮静化する時期の予測は大変困難であり、顧客である医療機関の入館規制等により、当社の営業活動や導入作業に影響を与える可能性があります。よって、現時点で新型コロナウイルス感染症の事業への影響を合理的に予測することは困難であるため、現時点での業績予想は、新型コロナウイルス感染症の影響を含めない前提で、2020年2月14日に公表いたしました業績予想を据え置いております。今後、業績への影響が明らかになった時点で、速やかに公表する予定です。

※なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおりますので、実際の業績等は今後の業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,830,798	2,397,750
受取手形及び売掛金	1,073,734	943,708
商品	264	192
仕掛品	174,536	282,123
貯蔵品	844	824
その他	54,895	43,305
貸倒引当金	△860	△754
流動資産合計	4,134,214	3,667,150
固定資産		
有形固定資産		
土地	512,647	767,647
その他(純額)	194,931	306,521
有形固定資産合計	707,578	1,074,168
無形固定資産		
	16,144	10,659
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	632,016	629,906
その他	152,227	159,726
投資その他の資産合計	784,244	789,632
固定資産合計	1,507,968	1,874,460
資産合計	5,642,182	5,541,611
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,088,941	984,116
短期借入金	300,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	277,540	27,540
未払法人税等	106,078	49,100
賞与引当金	-	39,900
その他	268,534	272,135
流動負債合計	2,041,093	2,522,792
固定負債		
長期借入金	1,147,805	540,920
退職給付引当金	299,053	305,979
役員退職慰労引当金	138,246	134,496
その他	19,760	29,522
固定負債合計	1,604,865	1,010,917
負債合計	3,645,958	3,533,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	424,250	424,250
資本剰余金	285,400	285,400
利益剰余金	1,286,743	1,298,421
自己株式	△169	△169
株主資本合計	1,996,223	2,007,901
純資産合計	1,996,223	2,007,901
負債純資産合計	5,642,182	5,541,611

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	929,790	1,080,087
売上原価	679,406	750,651
売上総利益	250,384	329,435
販売費及び一般管理費	196,324	219,120
営業利益	54,059	110,314
営業外収益		
受取利息	8	11
受取賃貸料	13,081	19,428
その他	30	127
営業外収益合計	13,121	19,567
営業外費用		
支払利息	2,552	2,679
賃貸費用	5,069	7,258
その他	-	131
営業外費用合計	7,621	10,070
経常利益	59,559	119,811
特別損失		
投資有価証券評価損	16,179	-
特別損失合計	16,179	-
税引前四半期純利益	43,379	119,811
法人税、住民税及び事業税	30,620	44,249
法人税等調整額	△10,755	△7,627
法人税等合計	19,865	36,622
四半期純利益	23,514	83,188

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)及び当第1四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

当社の事業は、システム事業の単一セグメントですので、記載は省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。